

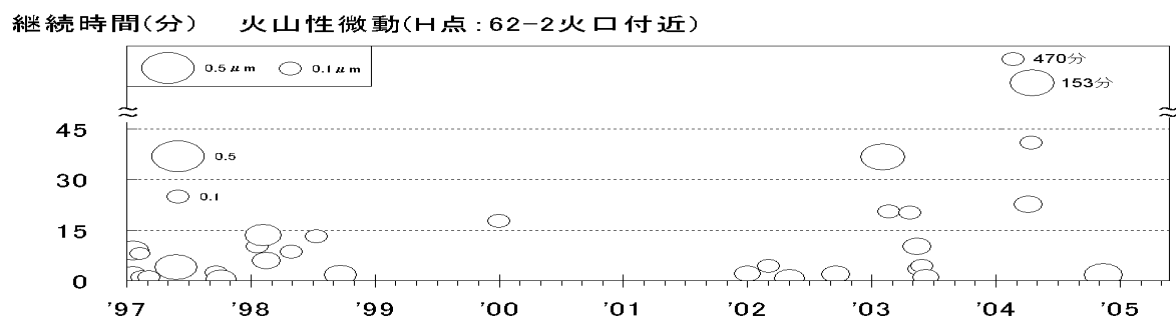
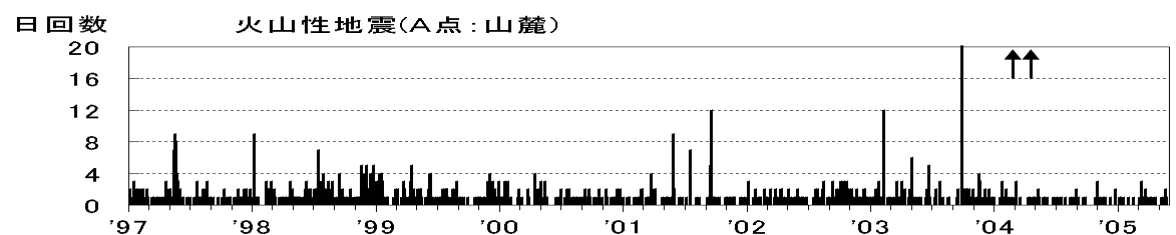
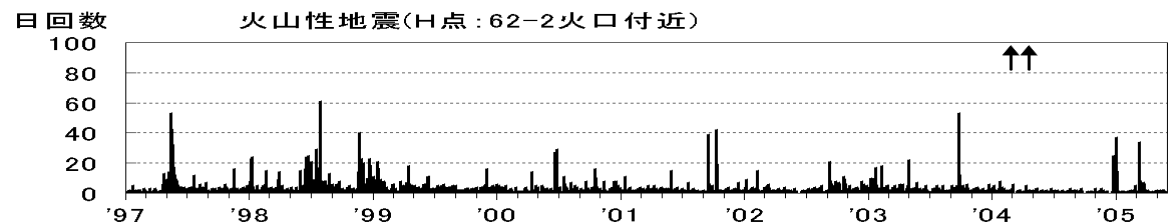
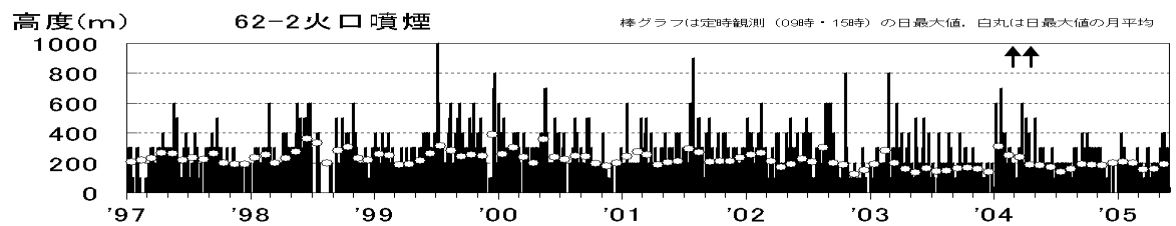
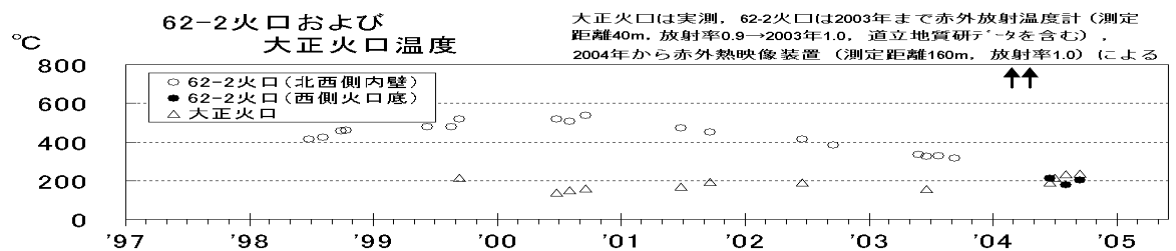
十勝岳

1 概況

62-2 火口は噴煙活動が活発で高温の状態が続いていると推定され、火山活動は引き続きやや活発な状態です。火口近傍では注意が必要です。

2 噴煙の状況

62-2 火口では活発な噴煙活動が続いています。噴煙は白色で高さは火口縁上おおむね 200 mで経過しました。



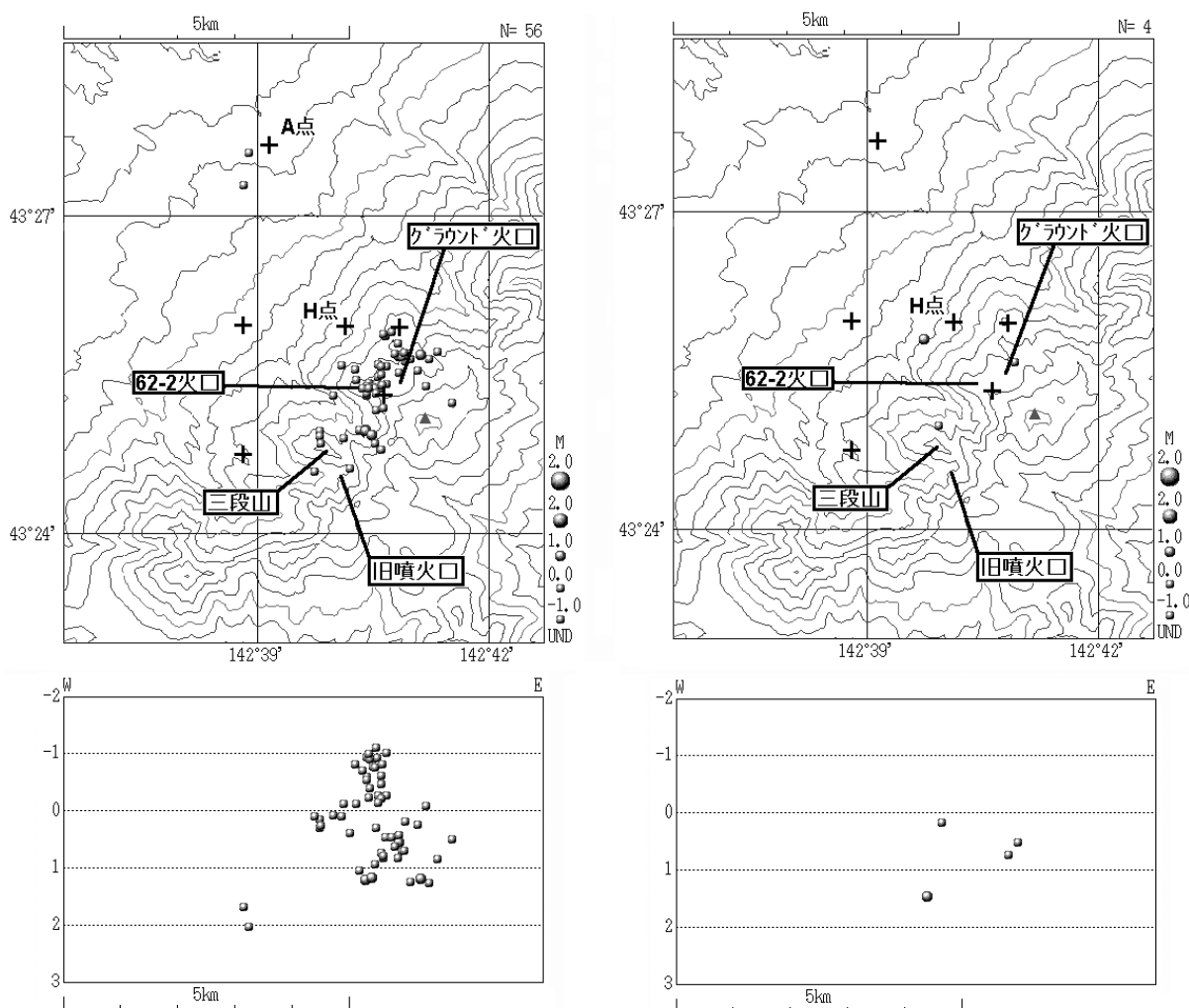
最近の火山活動経過図（1997年1月1日～2005年5月31日） ↑印はごく小規模な噴火

3 地震および微動の発生状況

今期間の火山性地震の回数は 1 日あたり 0～2 回と少なく、静穏に経過しました。火山性微動は 2004 年 11 月 17 日以降観測されていません。

地震・微動の月回数（H 点：火口付近の観測点 A 点：山麓の観測点）

2004～2005 年	6 月	7 月	8 月	9 月	10 月	11 月	12 月	1 月	2 月	3 月	4 月	5 月
地震回数 H 点	12	13	19	16	11	20	30	60	20	86	14	14
地震回数 A 点	2	4	6	3	3	7	4	4	2	11	4	5
微動回数 H 点	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0



十勝岳の震源分布図（丸印：震源、+印：地震観測点）

右図は今期間（2005 年 5 月 1 日～31 日）に求まった震源を示しています。

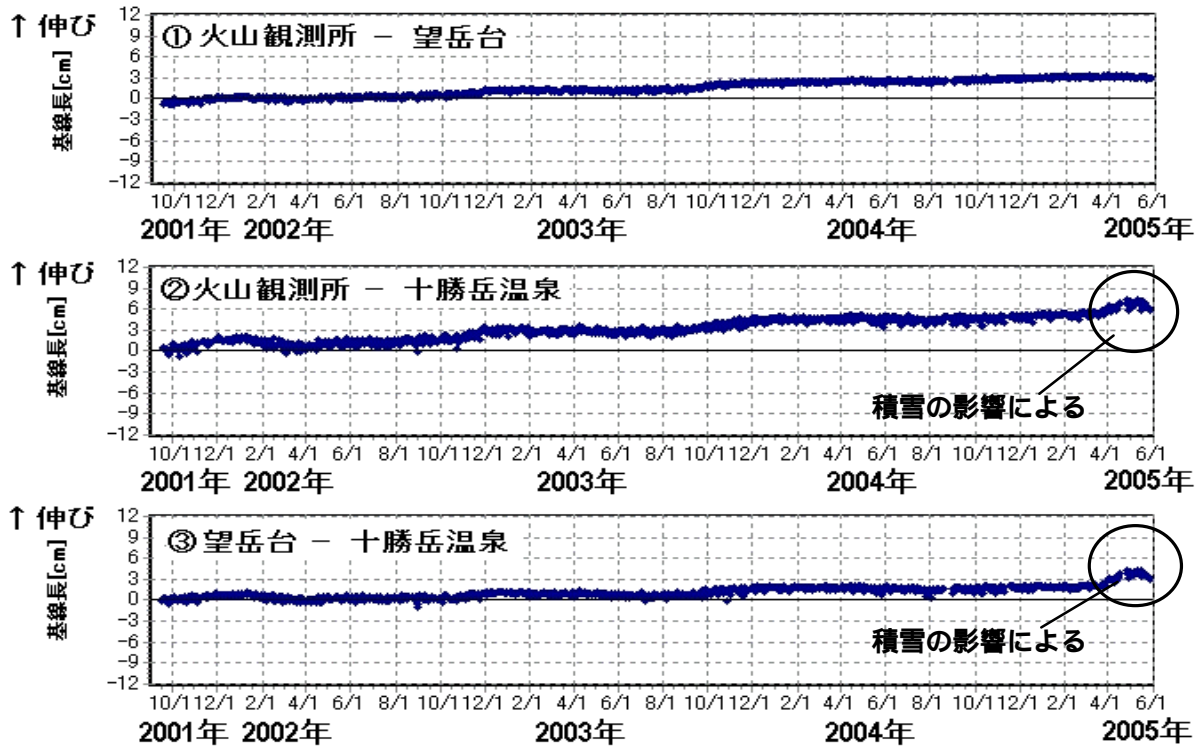
左図は前期間までの 11 ヶ月間（2004 年 6 月 1 日～2005 年 4 月 30 日）に求まった震源を示しています。

震源はグラウンド火口周辺と三段山～旧噴火口周辺の浅部（海面上 1km～海面下 1km 程度）に集中しており、今期間の震源もこれらの領域内に分布しています。

4 地殻変動の状況

西麓での GPS 連続観測では、火山活動に関連すると考えられる変動は認められません。

本年 3 月末から、十勝岳温泉観測点を含む基線で認められる変動は、積雪による一方向への加重で生じた局所的なものと考えられます。



基線長変化（2001 年 9 月 13 日～2005 年 5 月 31 日）

